

<令和元年度杉並区在宅医療推進フォーラム>

今日から始める終活

医療
ノコト

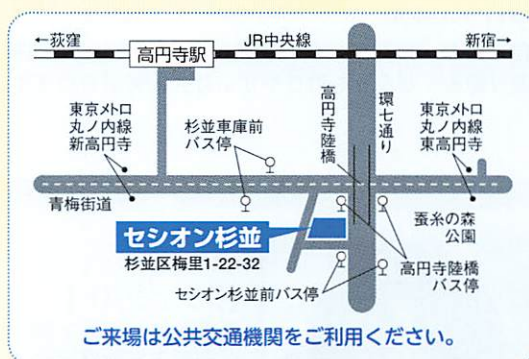
人は、いつか、どこかで、人生の最期を迎えます。

人生の最期を望みどおりに迎えるために、どのような準備が必要になるでしょうか…

杉並区は皆様とともに考えていきます。

【日時】令和2年1月12日(日)
午後0時30分～5時

【会場】セシオン杉並〈ホール・展示室〉
杉並区梅里1-22-32



基調講演 ホール・午後1時30分～3時 (開場：午後0時30分)

「なんとめでたいご臨終」



【講師】医療法人聖徳会小笠原内科・
岐阜在宅ケアクリニック
理事長 兼 院長

小笠原文雄氏

プロフィール

1948年岐阜県生まれ。名古屋大学医学部卒業。89年に岐阜市内に小笠原内科を開院。以来、在宅看取りを1,500人以上、ひとり暮らしの看取りを80人以上経験。がんの在宅看取り率95%を実践しています。

著書に『なんとめでたいご臨終』、共著に『上野千鶴子が聞く 小笠原先生、ひとりで家で死ぬますか?』他、教科書などの執筆など多数。その他『新聞』『テレビ』『ラジオ』『web』など数多くのメディアで取り上げられています。

日本在宅ホスピス協会会長。名古屋大学全学同窓会岐阜支部長。名古屋大学医学部特任准教授。岐阜大学医学部客員教授。

シンポジウム ホール・午後3時15分～4時15分

「最期の医療 あなたならどうしますか？」

「在宅で最期を迎えるにはどうすればいいの?」「救急車を呼ぶとどうなるの?」
など、最期の医療を話し合います。

どなたでも
お越しいただけます。

定員：550名

入場無料

申込不要 (先着順)

【手話通訳あり】

シンポジウム 「最期の医療 あなたならどうしますか？」 登壇者紹介



【コーディネーター】
がん・ソリューションズ
株式会社代表

桜井 なおみ氏

プロフィール

自らのがん経験を生かした雇用機会の創出や相談事業に取り組み、がんでも働きやすい社会の実現をめざす。



【シンポジスト】
杉並区医師会
おぎくぼ正クリニック院長

阿部 正氏

プロフィール

脳神経外科医として急性期の手術や管理に携わった経験をいかし、より良い在宅医療を目指して日々取り組んでいる。



【シンポジスト】
慶應義塾大学医学部
公衆衛生学教室講師/
コミュニティヘルス研究機構
機構長・理事長

山岸 暁美氏

プロフィール

日赤医療センターおよび豪州パースにて病棟勤務、帰国後、訪問看護・ケアマネジメントに従事。2009年～厚労省入省、診療・介護報酬同時改定、医療計画指針策定等に携わる。2016年より現職。

【シンポジスト】
東京消防庁救急部

「心肺蘇生を実施しないこと (DNAR)」の意思表示に対する救急医療対応の検討を行う東京消防庁、東京都の現状と課題はいかに…。



展示ブース 展示室・午後0時30分～5時

- フレイルチェック
- 介護福祉機器
- ケアグッズなどの展示
- 関連団体のブース など



講演の前後にお立ち寄りください。

在宅医療相談調整窓口

在宅医療をサポートするため、相談員が区民の皆様や医療・介護関係者の皆様からの在宅医療に関する様々な相談に応じます。

【電話番号】 03-3391-1380

【受付日時】 月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時

問合せ先：杉並区在宅医療・生活支援センター ☎03-5335-7317

<主催>杉並区 <共催>杉並区医師会・杉並区歯科医師会・杉並区薬剤師会